

院生研修及び採用試験時の服装について

日本棋院に所属する院生及び採用試験に参加する者は、院生研修・記録係・プロ棋士の対局の見学・研究会・採用試験などに参加のため、日本棋院本院・有楽町囲碁センター・中部総本部・関西総本部に登院する時の服装や身なりに関して、以下のように心がけるよう決まりました。趣旨をご理解のうえ、ご協力下さい。

- 一、 囲碁ファンから好意を持たれるような服装を心がけること。
- 一、 院生は囲碁界においてプロ棋士に準じる立場にあることを自覚し、また、採用試験参加者もその所作とともに身なりにおいて囲碁ファンが不快を覚えることがないように平素から心がけること。
- 一、 囲碁ファンに不快を感じさせるおそれがあり、慎むべき身なりには次のようなものがある。この他にもこれらに類する身なりは慎むこと。
 - ・不衛生な身なり、不潔な感じを与える身なり。
 - ・破れた衣服。汚れが目立ったり、だらしない印象を与える身なり。
 - ・Gパン及びTシャツ。(襟の付いたシャツで妙な柄で無ければ良い)
 - ・著しく肌を露出した身なり、著しく刺激的な身なり。
 - ・男子の短パン、サンダル、ピアス。

※但し小学生はGパン素材以外の半ズボンは可とします。

 - ・女子のホットパンツ、タンクトップ、キャミソール、ジーンズ地のスカート。
- 一、 前項に反する身なりで登院した場合は、院生師範、理事、プロ棋士が注意することとする。
- 一、 注意を受けた者は、素直に謝罪し、場合によっては直ちに帰宅していただこともありますので充分注意した心構えで登院すること。